

(様式第4号)

上田市美術館協議会 会議概要

1 審議会名	上田市美術館協議会
2 日時	令和5年9月27日 午後2時10分から午後3時25分まで
3 会場	上田市立美術館 市民アトリエ・ギャラリー
4 出席者	小林幸雄会長、有賀覚委員、佐藤聡史委員、松本透委員、米津福一委員（五十音順）
5 市側出席者	荻原総合プロデューサー、山寄館長、小笠原館長補佐兼教育普及担当係長、岡田学芸展示係長、竹下主査、清水主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和5年10月1日

協 議 事 項 等

交流文化芸術センター協議会との合同会議後に開催

1 開会（事務局）

委員の出欠についての説明。美術館職員の昇任・人事異動について説明。

2 議事

(1) 令和4年度事業報告について

【説明】

(事務局) 資料に沿って事業実績について概要を説明

昨年度の初めての取り組みについて、担当者から詳細を報告

(コレクション展Ⅱ「深掘り?!美楽」の開催と企業連携による鑑賞アプリ開発の事例紹介、子どもアトリエでの外部講師を招いて実施した「なるほど!美楽」の事例紹介)

【協議】

(委員) 「アルフォンス・ミュシャ展」では、主催である上田市と放送局に1,000万円ずつ収入があったということだが、黒字がでた場合は、違う事業や他の用途などに充てることができるのか。

(事務局) (ミュシャ展は) 実行委員会を立ち上げてその予算の中で収支を管理している。実行委員会が閉じたところで、残金は清算金として出資割合に応じ上田市と放送局に戻した。上田市は一般会計の歳入として戻すため、他の事業には回すことができない。今回は上田市で負担した分を返せたくらいである。黒字がでて一般財源の足しにできればとは思いますが、そこまでは難しいのが実情。

(2) 令和5年度事業の進捗状況について

【説明】

(事務局) 資料に沿って事業実績について概要を説明

【協議】

質問なし

(3) 令和6年度事業計画について

【説明】

(事務局) 資料に沿って事業実績について概要を説明

【協議】

(委員) デッサン講座などの応募受付は先着順か。

(事務局) 先着順で受け付けている。

(委員) 講座の潜在的な需要が多いか、などを感じるか。

(事務局) 先着のため需要が多いかどうかはわからないが、過去応募数が少なすぎたことはない。

デッサン講座は、今まで開催していた版画講座等で下絵を描くことに苦心している参加者が時々見られたため開催したが、他の「絵の基礎を学ぶ場がない」と感じている人にとっても受講しやすい環境になっている。水彩画講座は、参加者からの希望をもとに開催することとなった。

(委員) 講師はどのような基準で選んでいるか。講座の告知はどこで行っているか。

(事務局) 講師は、講座の趣旨を理解いただくことができ、少ない講座回数で引き受けてくださる方をいつも探している。講座の告知は「広報うえだ」、HP、ツイッター、紙のチラシを配ることもある。

(委員) アトリエシェアメンバーとは何か。

(事務局) 自主制作を促すような場。なかなか家で制作ができないが自分で部屋を借りるモチベーションまでは持てない、という人の背中を押す仕組みで、半期ごとメンバー登録することで、一人で借りるより安い値段でアトリエを使うことができる。まだお試し段階だが、担当からアイデアを出しつつ行っている。

(4) まとめ

【協議】

(会長) その他に、今までのお話の中で何かあるか。

(委員) 来年度の10周年で「サントミュージーゼ祭り」のようなものはないのか。

(事務局) 特別には計画していない。

(会長) せっかく広い場所があるので、それを活用したりすると面白いと思う。

(委員) しっぽをつけた子どもが外に出て、音楽を聴いて、一緒に踊る、みたいなのも面白い。

(委員) 学芸員の編成だが、小笠原補佐が教育普及担当係長、岡田係長が学芸展示担当係長となっている。企画展、コレクション展はどちらの担当、どういった区分けでやっているのか。

(事務局) 係長の担当は（教育普及、学芸展示とで）実務的な区分けはほぼないのが実情。学芸員も同様。企画展は展覧会ごとに担当を決める。コレクション展は、顕彰作家の担当は決めている。

(委員) 組織の編成上の区分けはあるのか？

(事務局) 編成上の区分けはない。広報担当、講座担当などの担当制はとっている。子どもアトリエについては、吉川指導員が主担当となっている。

(委員) 担当分けについてはどこも苦勞している。長野県立美術館は、学芸担当と学習担当で人員が違う。学芸担当の中では企画展とコレクション展が分かれている。

(委員) チラシ、ポスターなどのデザインは外部に頼んでいるか。

(事務局) 頼んでいるものも、自分たちでつくるものもある。

3 その他

荻原プロデューサーあいさつ

4 閉会（会長）